

いま考えたいこと

避難所でも食事制限

腎臓病と食事制限 慢性腎炎などの腎臓病のため透析を受けている人は全国で約29万人。全腎協によると、食事制限が必要な人は100万人ともいわれる。老廃物を尿として排泄する機能が低下するため、薬などによる治療のほか食事療法が大切とされる。



たんぱく質を半分に抑えたアルファ化米「はんぶん米」。食事制限が必要な人向けの食糧であることと呼び掛けるポスターも同封する。新潟県長岡市で

者団体の全国腎臓病協議会(全腎協)は、はんぶん米を備蓄している自治体に提供を要請。一部の自治体が応じている。全腎協の宮本高宏会長(左)は「避難生活で透析もままならず、食事制限もできないと体調が悪化する。腎臓病患者用の非常食は不可欠だ」と話している。

腎臓病患者は、タンパク質の摂取制限を必要とする人たちの常食米として開発された品種「春陽」に吸収されやすい必要。日又は、低タンパク質の米を主食にした。野菜をゆでこぼしてカリウムを減らしたりするなど、食事に気をつけている。

「避難所でも食事制限が必要になった。」
「避難所でも食事制限ができていたら、人工透析せずに済んでいるのでは。」アレキシーで食事に不自由する被災者の姿も見て、商品開発を始めた。

低タンパク質の「はんぶん米」

「避難所でも食事制限が必要になった。」
「避難所でも食事制限ができていたら、人工透析せずに済んでいるのでは。」アレキシーで食事に不自由する被災者の姿も見て、商品開発を始めた。

「避難所でも食事制限が必要になった。」
「避難所でも食事制限ができていたら、人工透析せずに済んでいるのでは。」アレキシーで食事に不自由する被災者の姿も見て、商品開発を始めた。

腎臓病患者へ非常食を

東日本大震災から四十日余、避難所 米(保存・非常用に乾燥させた加工への食料供給は安定しつつあるが、食 米)が、腎臓病患者らに喜ばれてい 事制限のある人には不向きな食品もある。二〇〇四年の中越地震をきっかけり、病気を悪化させる人が出ている。に、新潟県で誕生した。

「低タンパク質米」「腎臓病患者向け」といった表示ができない。このため、春陽を原料にしているはんぶん米も、「タンパク質半分」などと表示できず、「カラタにやさしい保存食」と表示するだけ。消費者庁は「病気の方向けなので、基準を厳しくさせるを得ない」と話す。

中越地震後に開発 現在は製造停止中

「避難所でも食事制限が必要になった。」
「避難所でも食事制限ができていたら、人工透析せずに済んでいるのでは。」アレキシーで食事に不自由する被災者の姿も見て、商品開発を始めた。

「避難所でも食事制限が必要になった。」
「避難所でも食事制限ができていたら、人工透析せずに済んでいるのでは。」アレキシーで食事に不自由する被災者の姿も見て、商品開発を始めた。

「避難所でも食事制限が必要になった。」
「避難所でも食事制限ができていたら、人工透析せずに済んでいるのでは。」アレキシーで食事に不自由する被災者の姿も見て、商品開発を始めた。

「避難所でも食事制限が必要になった。」
「避難所でも食事制限ができていたら、人工透析せずに済んでいるのでは。」アレキシーで食事に不自由する被災者の姿も見て、商品開発を始めた。